

心に残る文化財子ども塾 出雲市立塩津小学校

1. 活動の概要

5月21日（火）に、出雲市立塩津小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

授業の前半は、担任の先生から古墳時代について、豪族達が大きな墓を作っていたことなど古墳の写真等を使って説明がありました。続いて、古墳から出土する勾玉などを当時の豪族がどんな思いで身につけていたかを考え、現代のアクセサリーとは異なりとても神聖な宝物だったことを一緒に考えました。

授業後半では、勾玉や管玉、それに製作工程などについて県内の出土品で説明し、硬い石から時間をかけ光り輝く玉ができあがることを勉強しました。

古代体験ではろう石で勾玉作りを行いました。角を丸く削り最終段階で耐水性サンドペーパーで磨くと綺麗な模様のある勾玉もできあがりしました。

2. 子ども塾を終えて

①児童たちから・・・

- 勾玉を削って磨いて作るのが楽しかった。
- ブロックやヤスリで削った勾玉を水につけて磨いたら色が変わってきれいだった。
- 勾玉を磨いたら石の模様が出てきて綺麗に出来上がりうれしかった。

②担任の先生から・・・

- ◆古墳時代の学習をもう一度復習できてよかった。
- ◆本物の勾玉を見たり、実際に触れたりできて子供達の理解が深まった。
- ◆家庭に帰って、勾玉を母親にプレゼントしたり、勾玉の作り方について話したりできた。

③埋文センターから一言

- ◎少人数だったので、遺物にじっくり触れてもらうことができとても良かったと思います。
- ◎古代出雲歴史博物館でも見学・体験活動を実施されており、子供達の関心も高く、今後も郷土の歴史について理解を深めてもらいたいと思います。